



御霊神社本殿—同神社提供



御霊神社本宮 (五條市)

五條市に23社あるといわれている御霊神社。吉野川の南、靈安寺町に鎮座する当社は、その分祀元であることから本宮と呼ばれるっており、祭神は、井上内親王、他戸親王、早良親王です。



井上内親王は717(養老元)年、聖武天皇の第一皇女として誕生。

(住所) 五條市靈安寺町2206
(祭神) 井上内親王、他戸親王
早良親王
(交通) JR 五条駅からバス約10分

「靈安寺」下車徒歩約5分
(拝観) 境内自由(駐車場) 無料
(電話) 0747・23・0178
(藤井さん)

怨霊を崇め鎮護の神に

5歳で齋王に選ばれ11歳で伊勢神宮に出仕。帰京後、天智天皇の孫である白壁王の妃となります。白壁王が即位(光仁天皇)すると、内親王は皇后に、子の他戸親王は皇太子となりました。

しかし、母子は政権争いに巻き込まれ、無実の罪で皇后・皇太子を廃さ

れ大和国宇智郡(現五條市)に幽閉、775(宝龜6)年4月25日、同じ日に亡くなります。

その後、都で天変地異が多発し、疫病が流行。これを母子の怨霊の祟りと恐れた朝廷は、皇后の地位を追号。そして桓武天皇により、靈安寺と御霊神社が創建された

と伝わります。当社は怨霊は崇めまつれば御霊となり鎮護の神となるという、御霊信仰のはじまりです。

4年をかけた本殿の檜皮葺の葺き替えは3月完了予定。竣功奉祝行事として4月25日遷座祭、本殿見学会、所蔵品展。26日に竣功祭、神輿巡幸、天平行列、朗読劇、コンサートが行われます。

(奈良まほろばソムリエの会員 山崎愛子)